

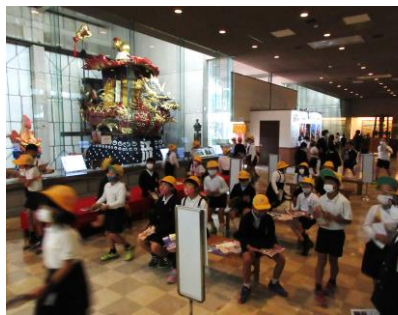
ひしのみ

【学校目標】 たくましく かしくともに生きる

やっぱり修学旅行は楽しい



1・2年生 忍者村



3・4年生 曳山会館



5年生 わに博士顕彰公園

10月16日(金)、1年生から5年生は日帰り修学旅行、6年生は、前日から1泊2日で長崎への修学旅行に行ってきました。

コロナ禍で実施するかどうか悩みましたが、子供の日記を読んでいると、どの学年の子供たちもしっかり楽しみ、現地に行くことで、いろいろと学びとることができていました。修学旅行による、「本物を見ることの大切さ」、「学年全員で同じことを体験することの大切さ」、「同じ思いを共有することの大切さ」を感じました。行事は子供たちを成長させる大切なツールです。コロナ感染予防をしっかりとしながら、できるだけ、行事は中止にしない方向で進めたいと思っています。



6年生 長崎での平和集会

いつもご理解、ご協力いただき、温かく見守って下さっている保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

お店の使い方を考えよう

千代田中部小学校校区内にも、少しずつお店が増えています。それに伴って、子供たちの生活にも変化が表れ、トラブルも起きてきているようです。「用もないのにお店に行って、うろうろして時間をつぶしている。」とか、「今、必要ではないものをたくさん買って困った。」「無駄遣いしている。」「友達におごってあげているようだ。」「おごって、おごって。』と何回も言われて困った。」などなど。担任の方に、保護者の方からの悲痛な声も届いております。そこで、本校職員で話し合い、千代田中部小学校のお店利用のきまりを作ることとしました。

○1年生から3年生までは、必ずおうちの人と一緒にお店に入ります。

○4年生以上の人も、買う用事がない時はお店に入りません。

○ぜったいに友達に「おごって」と言いません。

○大切なお金です。おうちの人のお許しもなく、友達におごったりしません。

この4つです。おうちでも、お金の大切さや使い方について話をしてください。お金を稼ぐことの厳しさもお話しただければきっと子供たちも考えるはずです。よろしくお願いします。

体育大会の感想ありがとうございました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育大会の規模を縮小し、午前中開催とさせていただきます。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、素晴らしい体育大会にすることができました。

さて、「学校だより NO.14」で、今年度の体育大会を受け、来年度の体育大会についてのご意見をお願いしていたところ、32名の保護者の皆様からご意見をいただきました。本当にありがとうございます。この通信内容に反応していただけることがとてもうれしいです。32名の方のご意見としては、「午前中開催希望」が13名、「1日開催希望」が12名、「どちらでもよい」が7名でした。いくつかご意見を紹介します。

<午前中開催希望>

- ・「物足りないのかな?」と思って、観覧・応援をさせていただきましたが、十分に満足いく、中身のある体育大会だと思いました。プログラム自体は減りましたが、短時間開催による工夫がなされており、私的には、短時間もよいのではと思いました。(中略)感染症対策等を考えると、午前中のみでも充分なのかな〜と。(後略)
- ・(前略)熱中症対策などを考えると、午前中開催でもよいのではと見直しを行わなければならない時なのかなと思いました。

<1日開催希望>

- ・運動会は、午前中だけが準備・体力的にも楽でしたが、一緒にお弁当を囲んだり、例年通りの競技で更に成長を感じたいので、「今まで通り」の開催を希望します。
- ・私は、例年通りが良いです。高学年になるにつれて家族でお弁当を囲む機会は減っていくし、年に1回小学校でたった6回の運動会。親も子も、1日がかりで楽しみたいと思います。

神崎市では体育大会の開催についての最終決定は、神崎市教育委員会が行うこととなっております。このご意見については教育委員会に伝えます。また、委員会としては、来年度、土曜日開催についても検討しているようです。土曜日開催についても、ご意見をいただければ助かります。

とってもうれしいコメントをいただきました

一年一組 おてんばあちゃん の よの	今年も素晴らしい体育大会でした。	賞状にもらえる文章、とても	いつもありがとうございます。	今年も観覧できて良かったです。	とっても楽しかったです。	この盛り上がりもすごかったです。	校長先生はいつもありがとうございます。	のほめほめをたくさんいただきました。	体育大会の盛り上がりもすごかったです。	年組 さんへ
-----------------------------	------------------	---------------	----------------	-----------------	--------------	------------------	---------------------	--------------------	---------------------	-----------

子供たちが、友達のいいところを見つけて投稿する「ほめほめボックス」の中に、左のカードが入っていました。

だれが書いてくださったのかは分かりませんが、本当にありがとうございます。うれしい!!

「やってよかった〜。」という気持ちと共に、続けようという活力が湧いてきました。今後も、子供たちをたくさんほめていきます。